

東公民館

高齢者大学一日体験入学

10月22日(水)、北伊予中学校で高齢者大学一日体験入学を開催しました。

過去、小・中学校で入学体験をしています。今年度は初めての試みとして、高齢者の体験発表を取り入れ好評を得ました。一日体験入学を終えての感想を2年生を代表して3名の生徒に書いていただきました。

戦争体験のお話を聞いて

北伊予中学校 2年

笠井 美里

話を聞いて、とても大変だったのだと思いました。でも、本当は、もっと、言葉で言えないくらいのことがあったのではないのかな、とも思いました。今、この世の中に生まれてきた自分たちがどれだけのかわがままで、ぜいたくであるか。学校に行けているこ

ともとても幸せです。

これからは、元気で何不自由もない今の時代に生きていくことを感謝して、過ごしていきたいです。

グラウンド・ゴルフを終えて

北伊予中学校 2年

宮城 遼平

天候にも恵まれて、とても楽しくすることができました。いっしょにまわっていただい



▲戦争体験のお話 (大溝老人会長高市哲郎さん)



▲地区別で高齢者の方と生徒による対面給食の風景

▼グラウンド・ゴルフ風景



た丸山さんや金子さんが、とても優しくしてくださったので、とても楽しくできました。ぼくは、あまりうまくできずに、いいスコアもとれなかつたけれど、それでもとてもいい思い出になったのでよかったです。

高齢者大学交流会全体の感想

北伊予中学校 2年

佐々木ひとみ

私は、高齢者大学を終えて、戦争について体験したことや、そのときの気持ちを知ることができました。グラウンド・ゴルフではお年寄りの方々と笑いつたり、くやしがつたりして、とても楽しかったです。また機会があれば、やってみみたいです。そして、いつまでも平和な世の中が続くように強く祈りたいです。

保育シリーズ

砂場から広がる笑顔

古城幼稚園

黒河由花

幼稚園の中には、幼児の感性を育てる様々な環境があります。中でも砂場は、多様な体験を提供してくれる場所であり、幼児一人ひとりの想像力を思いきり引き出す場所でもあると感じています。

先日、砂場で数名(3、4歳児)の幼児と山作りをしていた時のことです。最初は車を山の上から転がすために砂を積み重ねていたところ、山が少しずつ大きくなるにした

が、その山は遊園地となりました。そしていつの間にかトンネルができ、さらには、水を流すことにより周りに川ができました。その川を利用して、今度は露天風呂作りが始まったのです。

一人ひとりの思いが砂を使って形になっていくと同時に、回りの幼児にも楽しさが伝わり、最後には大勢の幼児が集まり、露天風呂に素足を突っ込んで、満面の笑顔で楽しさを共有する様子が見られました。

砂場は、作ったり壊したりすることのできる特性があることから、じつくりと遊ぶことができず。また、戸外での開放感も味わうことができ、幼児の安定の場所になるとも考えられます。その中で、遊具の貸し借りや、山作りの方法の教え合いなど、人とのかわりも豊かになる場所でもあるのです。

教師も豊かな感性と幼児の思いに寄り添える広い心をもってかわり、今後も幼児と共にたくさんの笑顔から生まれる楽しさを発見していきたいと感じています。



▲砂場って楽しいな!